

送配電部門における
仕様統一化の検討および調達の工夫に関する
「調達改革ロードマップ」について

2019年3月



1. 概要

2. 調達改革ロードマップ

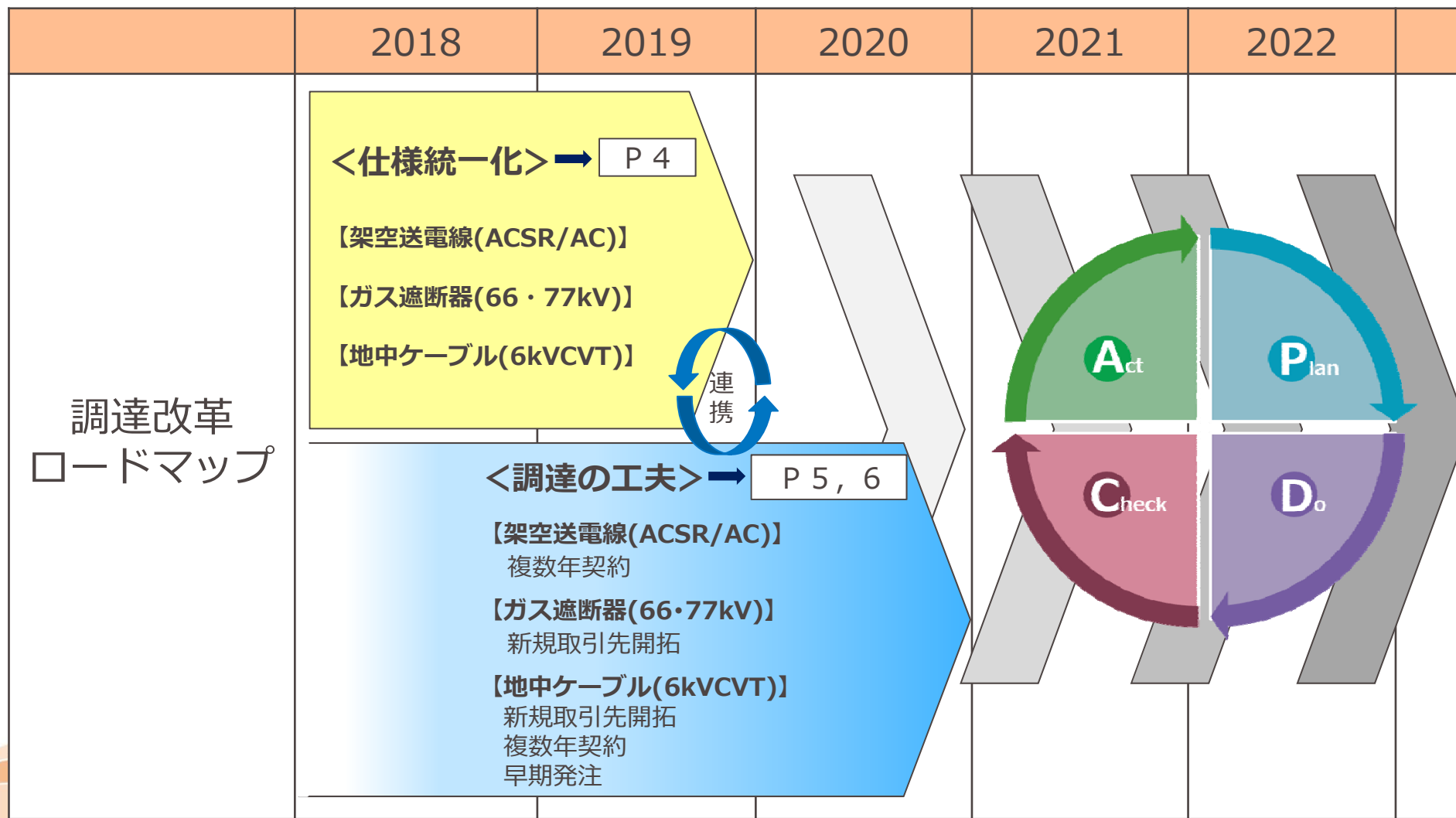
3. 仕様統一化

4. 調達の工夫

- 現在、電力システムを取り巻く事業環境は、中長期的な人口減少や省エネルギーの進展等により電力需要が伸び悩み、収益が減少しています。また、再生可能エネルギーの導入拡大による系統連系ニーズの増加や送配電設備の高経年化への対応等により費用が増加する等、収支悪化要因が顕在化してきています。こうした課題に対し、将来的な託送料金を最大限抑制するための対応が必要となっています。
- そこで、自助努力がおよぶ費用面の対策を行うべく、再生可能エネルギーの導入拡大や送配電設備の高経年化に対し計画的かつ効率的な設備投資を行いつつ、経営効率化の取組みを加速してまいりたいと考えています。
- その一環として、資材調達価格の低減を図るべく、当社はこの度『**調達改革ロードマップ**』を定めました。送配電事業者間での仕様統一化や共同調達、海外メーカーを含めた新規サプライヤーの発掘等の調達手法の工夫により、**業界トップクラスの調達改革に取り組んでまいります**。




2. 調達改革ロードマップ

○仕様統一化・調達の工夫を通じてさらなる効率化を目指してまいります。
 ○また、今回の取組みに対するPDCAを回すことで、業界トップクラスの調達改革に取り組んでまいります。



3. 仕様統一化【方針および具体的な施策】

○仕様統一化については、一般送配電事業者10社共同で検討を進めており、調達額が大きく新規電源アクセスに使用されるという観点から、以下3品目を選定しました。
 ○以下の方針の下、各品目毎に具体的な施策を実施してまいります。

方針		具体的な施策
架空送電線(ACSR/AC) 	○ACSR系電線には、一般的に使用してきたACSRと、より耐食性が高いACSR/ACがあるが、スケールメリットによる価格低減に向け、2019年度末を目途にACSR/ACに統一化する。	○ACSRとACSR/ACのスペックを比較する等、全国大でACSR/ACに統一することによる不具合がないかを検証する。 ○新設のみならず、設備更新の機会を捉えて、既設についてもACSR/ACで対応予定。
ガス遮断器(66・77kV) 	○メーカー製造工程の効率化やスケールメリットによる価格低減に向け、2019年度末を目途に66・77kVガス遮断器の各社仕様を統一化する。	○各社の現状仕様を把握し、標準仕様を検討することでスケールメリットを拡大する。 ○新設のみならず、設備更新の機会を捉えて、既設についても新仕様で対応予定。
地中ケーブル(6kVCVT) 	○メーカー製造工程の効率化やスケールメリットによる価格低減に向け、2019年度末を目途に6kVCVTケーブルの各社仕様を統一化する。	○各社の知見を反映した試験方法、材質等の各社個別仕様の取捨選択を実施し標準仕様を設定する。 ○新設のみならず、設備更新の機会を捉えて、既設についても新仕様で対応予定。

4-1. 調達工夫【評価指標の設定・目標】

- 調達の工夫の深化により、業界トップクラスの調達改革に取り組んでまいります。
- こうした取組みを、より『見える化』するため、調達の工夫に関する内容を指標化することとしました。
- 具体的には、「仕様統一化品調達割合」、「競争発注比率」、「取引先拡大数」、「施策実施率」のKPI(※)を設定の上、全社的な調達知見を本件にも活用し目標達成に努めてまいります。 ※Key Performance Indicator = 目標の達成度を評価するための指標

分類	項目 (K P I)	説明	実績値 (2018年度)			目標値 (2022年度)		
			架空送電線	ガス遮断器	地中 ケーブル	架空送電線	ガス遮断器	地中 ケーブル
仕様統一化 状況	仕様統一化品調 達割合	仕様統一化品の購入 (個別仕様品の排除)	100%	—	—	100%	100%	100%
競争拡大	競争発注比率	競争環境構築・維持	96.9%	100%	100%	100%	100%	100%
	取引先拡大数	競争環境の活性化	4社	4社	4社	5社	5社	5社
調達の 工夫	施策実施率 → P 6	各社で実施している調達 の工夫を展開	83.3%	83.3%	50.0%	100%	100%	100%

4-2. 調達工夫【施策実施率の詳細】

○今回仕様統一化する3品目に対して、有効と考えられる施策を6施策に集約し、現在の取り組み状況（2018年度時点）を下表に整理しました。

施策	説明	品目		
		架空送電線	ガス遮断器	地中ケーブル
新規取引先開拓	国際調達も視野に入れ国内外の新規取引先を開拓することで競争環境を活性化させる。	○	×	×
まとめ発注	契約時期を合わせて調達量を増やしスケールメリットを得る。（共同調達を含む）	○	○	○
コスト低減提案の募集	技術提案に限定せず、調達方法等の調達全般に関するコスト低減提案を募る。	○	○	○
複数年契約	通常のコ約期間を長期化することで優位な条件にて契約する。	×	○	×
早期発注	概略設計の状態ですら早期に発注することで取引先の生産計画平準化に寄与する。	○	○	×
シェア配分競争	複数の案件をまとめて提示することで競争の結果により取引先にシェアを配分する。	○	○	○
施策実施率		83.3%	83.3%	50.0%